

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書

平成30年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	17	課題区分	B				
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	北アルプス地域振興局企画振興課		
事業名	地域活性化に係る研究・検討事業			電話	0261-23-6501		
				E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業概要	目的 (目指す姿)	北アルプス地域で生じている課題やニーズを的確に把握し、主体的・積極的に解決し、地域活性化を図る。					
	現状と課題	北アルプス地域が抱える課題については、しあわせ信州創造プラン及び大北地域ビジョンに基づき、課題解決に向けて取組を進めてきたところではあるが、今後の中長期的な取組の方向性を見定める上で、新たな視点にたった課題の把握や取組の研究を検討する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	北アルプス地域の課題に精通し施策立案に見識の高い有識者からの講義や意見交換を通じ、現地機関の連携による施策の立案に資することを目的として、地域活性化に向けた研究・検討の場を設ける。					
	事業期間	平成29年9月8日 ~					
	成果目標	北アルプス地域の地域課題を解決するための取組案を作成する。					
事業費等	事業費	22,880 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	外部講師報償費	22,000	22,000	21,200	800	詳細は別紙のとおり
	9	外部講師旅行費	2,000	2,000	1,680	320	詳細は別紙のとおり
						0	
						0	
計		24,000	24,000	22,880	1,120		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	○「北アルプス地域を取り巻く課題について」 (日時・場所)平成29年9月8日 大町合同庁舎101号、102号会議室 (講師)有限会社コミュニケーション・デザイン研究所(大町市) 代表 扇田孝之 (参加者)15名		・「個の時代に対応した地域づくりを行うためには地域資源に着目したニッチなマーケットを掘り起こす必要がある」との提言は、地域の特色を反映した次期総合5か年計画地域計画案を検討する中で、示唆に富むものであり、当地域の課題に精通した扇田氏との意見交換は大変参考となった。			○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	しあわせ信州創造プラン2.0の北アルプス地域計画において、当地域の資源である豊富な温泉や特産のハーブなどを活用したヘルツツーリズムの推進やヘルツツーリズム関連製品の開発等に取り組む。						